

SDGs 将来世代創造フォーラム 2024

会場は学生や子連れの子が比較的多く、とてもにぎわっていました。

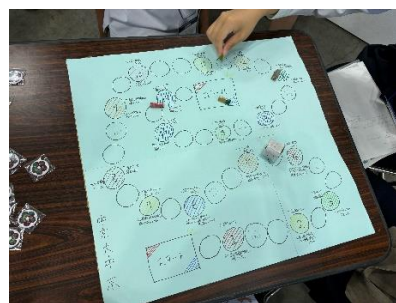
そして私は、自分たちと同じ高校生の人たちが環境についての出展をしていることに対してとても驚きました。私も含めて、同年代の知り合いに環境について興味を持っている人や、活動をしている人が全くいなかったからです。

名古屋国際中学校・高校では、部活動「SusTeen！」が五年前から環境問題の解決、SDGs の達成に向け、主にアップサイクル商品の活動をしながら、地元の企業などと連携し食品の商品開発に取り組んでいます。そして、「若者ならではの知識を生かす」というモットーを軸に、様々なアップサイクル商品で本来は捨てられてしまうものの削減を推進しています。

中京大中京高校では、年齢関係なくだれでも楽しめるようなすごろくとクイズを用い、現代の環境問題の深刻さを伝える出展をしていました。



↑名古屋国際中高×若鯨屋のコラボ商品
エビの頭、うどんの切れ端から作られたせんべい



↑中京大中京高校 すごろく

自分たちと同じ世代が環境問題について真剣に取り組んでいる姿を目の当たりにし、とても尊敬するとともに、私も環境問題を知らんぷりせず、向き合う必要性を感じさせられました。

会場には環境、健康、地域共創についての様々な興味深い出展がありました。

東邦ガスの出展は植物を育てることが好きな私にとって惹かれる商品でした。

ポリエチレン製ガス管の端材を切断、着色して植木鉢として活用し、用土も三州瓦、間伐材などを再利用したものでつくられているプランター「Eco plants」です。

フォルムや色がおしゃれで家の中で育てるプランターなので、家で植物を育てたい人や、環境について興味がない人でもとても魅力的な商品だと感じました。

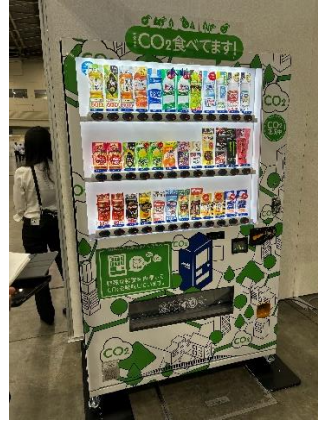
また、アサヒ飲料の自動販売機に関する出展も興味深いものでした。



↑写真①



↑写真②



↑写真③

写真①は従来の約 20%の電気量をカットし、3分の2の電気代でまかなえる自動販売機です。

写真②は普段より 7°C温度を下げ、飲料を過冷却することでシャーベットのような触感を実現できるにもかかわらず、使用する電気量が少ない自動販売機です。

写真③は機械の中に杉の木 20 本ほど CO₂ を吸収する吸収材を設置し、使用済みの吸収剤は住宅などに使われるタイルに加工することができる動販売機です。

さらに、写真③の自動販売機を導入している AISIN という会社では、使用済みの吸収剤と会社の食堂から発生した残飯を混ぜて堆肥にし、その土から作られた野菜を食堂で使用する循環サイクルが行われています。

今回のようなイベントは初参加だったのですが、すべての展示物に興味をそそられ、たくさんのことを学べるとても充実したイベントでした。